

木質文化財含浸強化用樹脂 『アルタイン G - 1』

〔特長〕

- ①脆弱化した木質を補強することができます。
- ②木質表面の彩色の固定（剥落止め）ができます。
- ③虫喰いによる虫穴などへの充填ができます。
- ④ガラス板などに樹脂を伸ばして乾燥させ、樹脂フィルムとして用いることができます。

〔対象〕

著しく損傷劣化した木造彫刻や木工品、建築材などの強化や原型を保持するために用いることができます。

- ①水分の影響を長期にわたって受け、樹脂分が溶出しスポンジ状を呈している箇所。
- ②木部表層の紫外線劣化が進み、炭下層が深くなっている箇所。
- ③虫喰いにより損傷劣化を受けた箇所。

〔樹脂の成分〕

主成分：ポリビニルブチラールとエチルセルロースの混合物

副成分：抗菌剤

溶媒：エチルアルコール

〔使用方法〕

アルタインGは通常10%の濃度で販売提供されます。

- ①木質の強化には、同量のエタノールを加えて5%に希釈したものを標準溶液として使用してください。
- ②損傷劣化箇所が全体に及ぶときは、希釈した溶液に浸し*¹、部分的な劣化の場合は、筆や注射器などを用いて注入してください。
- ③希釈した溶液に浸すときは、本体から気泡が出なくなるまで静置します。
- ④含浸後、溶液から取り出し、余分な樹脂を流出させたあと、風通しのよい直射日光の当たらない場所で自然乾燥させます*²。
- ⑤あまり損傷を受けていない箇所にできた樹脂の被膜は、乾燥後に無水エタノールなどを布に含ませて拭き取ってください。
- ⑥表面の剥落止めには、2倍量の無水エタノールを加えて約3.3%に希釈したものを標準溶液として使用してください。剥落しかけた塗装材料に、標準溶液を浸透させます。1回で定着しないときは2～3回繰り返します。
- ⑦反り返った漆箔は、⑥と同じ標準溶液で下地を固定した後、樹脂フィルムを空隙に挿入します。次に、漆箔の表面から無水エタノールを塗布して樹脂フィルムを溶かし、乾燥するまで箔を押さえます。
- ⑧乾漆のような粉状素材の補強定着は、同量の無水エタノールを加えて約5%に希釈したもの

を標準溶液として使用してください。筆や注射器で標準溶液を浸透させます*³。

⑨虫穴などへの充填には、同量の無水エタノール加えて5%に希釈したものを標準溶液として使用してください。標準溶液に粉状の素材（顔料、木粉など）を練り込み適当な硬さにし、コーンに詰めて絞り出す等の方法で充填してください。

*¹ 含浸時間は、木質の損傷程度によりますが一昼夜が目安です。

*² 乾燥の目安は、対象の大きさや損傷の程度、風通しにもよりますが、3～4週間程度です。

*³ 素材の表面に樹脂の膜ができないようにしてください。

※ アルタインGは、修理文化財の損傷劣化の程度や樹種によって濃度を変えて使用できます。

[注意事項]

①使用時には必ず換気を行ってください。

②使用時には必ず手袋を着用してください。

③使用後は必ず蓋をして密閉してください

④当製品の使用により発疹等の過敏症状が現れたときは、すみやかに使用を中止し、医師の診断を受けてください。

⑤目に入った場合はすぐに水で洗い流し、異常がある場合は眼科医の診断を受けてください。

アルタインG-1による含浸処理



アルタインG-1を希釈する



対象物を24時間含浸する



自然乾燥



アルタインG-1に木粉を混和し虫食い孔に詰める

アルタインG-1による漆箔の剥落止め処理



筆でアルタインGを漆箔の内面に塗布



アルタインGのフィルムを差し込む



漆箔の表面からアルコールを塗布しフィルムを溶かす



漆箔を押さえながら乾燥させる